



日本語教師志望者から現職教師までを対象にした、唯一の実用情報誌

『月刊日本語』3月号

<2011年2月9日(水)発売>

株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照麿)より、日本語教育の実用情報誌『月刊日本語』最新号のご案内を申し上げます。本誌は、日本語を教えたいと思っている方や、実際に日本語を教えている先生方を対象に、最新の日本語・日本語教育情報を中心に、国内外の教育事情、日本語を教える上で役立つアイデアや教授法など、いまずぐ使える情報を毎月お届けしています。

特集:361人がセキララ告白☆ 日本語教師アンケート 2011



<本誌表紙>

【価格】705円(税込740円)

【サイズ】B5判

【雑誌コード】13371-03

■好評連載■

異文化理解に関するものから、日本語教育能力検定試験の対策講座まで、幅広いテーマで連載しています。

例えば・・・

- 日本語教師の素顔
- 外国人に関する法律知識
- それいけ！検定キーワード戦士トリセツマン など

今月は、日本語教師のリアルな姿をお伝えして好評の、アンケート特集の最新版をお届けします。人間像・仕事・お金・人間関係・夢と、気になるデータを一挙公開！日本語教師になろうと思ったきっかけや満足度、人間関係の悩みと解決のコツ、さらにはお給料のことまで、日本語教師の本音と素顔に迫る総力特集！

■日本語教師 361人のリアルな声を集約

2010年末、東京都および近郊6県の日本語学校に依頼。75校361人の日本語教師の協力を得ました。

■アンケート結果から見える、日本語教師という仕事の現状と魅力、問題点

【人間像に関する質問から】

Q 年齢は？

A 31歳～35歳が最多(20.8%)。61歳以上が急増。幅広い世代で構成されるが、特筆すべきは「61歳以上」の増加。前回(2009年9月号)の1.6%から6.4%に。団塊世代教師の新規参入がうかがえる。

【お金に関する質問から】

Q 月給または時給を教えてください

A 月給(手取り)平均 20万7,265円
時給平均 1,875円

Q 日本語教師の待遇全般について、どう思いますか？

A 悪い 72.6%、よい 1.1%

「よい」が約1%という悲しい結果に。日本語教師の待遇改善は、何年も叫ばれているものの、その成果はまだ見えない。

【仕事に関する質問から】

Q 仕事のやりがい、ライフスタイルなどをトータルに考えて、現在の仕事に満足していますか？

A 大変満足 11.4%、やや満足 58.7%

待遇に対する不満は多いものの、満足度は高い。

【夢に関する質問から】

Q 10年後も教師を続けていると思いますか？

A はい 63.7%、いいえ 16.9%

※仕事への満足度は高いものの、長きにわたって問題視されている日本語教師の待遇は改善されず、「やりがい」と「待遇」の狭間で揺れる、日本語教師の実像が浮かび上がっています。

多文化共生社会への道を歩む日本社会の未来で、重要な役割を担う日本語教師のこうした声は、国家の問題として考えるべきでしょう。

■『月刊日本語』編集部は、国内外の日本語教育や、日本に暮らす外国人に関する事例を取材し続けています。本リリースについてのお問合せ、見本誌のご請求、編集部への取材依頼などは下記までご連絡ください■

株式会社アルク 広報部(担当:河合、池田) e-mail: ko-ho@alc.co.jp 電話:03-3323-3521